

(写)
31 西監第 158 号
令和 2 年 2 月 5 日

西東京市議会議長 田 中 のりあき 殿
西 東 京 市 長 丸 山 浩 一 殿

西東京市監査委員 櫻 井 勉

西東京市監査委員 橋 本 勇

西東京市監査委員 小 幡 勝 己

令和元年度定期（工事）監査の結果について（報告）

地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 199 条第 1 項及び第 4 項の規定に基づき定期監査を実施したので、同条第 9 項の規定により、その結果を別紙のとおり提出します。

定期（工事）監査報告書

第1 監査の種類

地方自治法（昭和22年法律第67号）第199条第1項及び第4項の規定に基づく監査

第2 監査の対象工事及び部課

- 1 工 事 件 名 （仮称）泉小学校跡地公園整備工事
- 2 所 管 課 みどり環境部みどり公園課、総務部危機管理課（令和2年2月1日の組織改正に伴い、危機管理室から現名称に変更）
- 3 契約担当課 総務部契約課

第3 監査の範囲

当該工事に係る計画、設計・積算、施工及び事務手続等

第4 監査の期間

令和元年8月2日から令和2年1月30日まで

第5 監査の基準

全国都市監査委員会の「都市監査基準」（平成27年8月27日施行）に準拠

第6 監査の実施内容

工事の設計及び施工等が法令等に準拠し、適正かつ効率的に執行されているかを主眼として、「一般社団法人 東京技術士会」に工事技術調査の業務を委託して実施した。

第7 監査の日程及び実施場所

- 1 日 程 令和元年11月6日
- 2 実施場所 エコプラザ西東京講座室及び施工場所

第8 監査の着眼点

- 1 計 画 (1) 工事の計画は妥当か。
(2) 関連工事相互間の調整は適切に行われているか。
- 2 設計・積算 (1) 設計・積算は、適法かつ合理的、経済的、効率的に行われているか。
(2) 事業目的に適合した設計になっているか。
(3) 数量、金額は正確か。また、その算出根拠は明確か。
- 3 施 工 (1) 施工は、設計に基づき的確に行われているか。
(2) 各種検査、材料試験等は、適正に行われているか。
(3) 工程、品質、安全等、監督は適正に行われているか。
- 4 事務手続等 (1) 工事契約は適正か。

(2) 工事の事務処理は適正か。

第9 工事の概要等

1	工 事 件 名	(仮称) 泉小学校跡地公園整備工事
2	工 事 場 所	西東京市泉町三丁目6、7番
3	工 期	令和元年6月10日から令和2年3月16日まで
4	契 約 金 額	220,000,000円(うち消費税等 20,000,000円)
5	施 工 業 者	株式会社 緑峰
6	工 事 概 要	施工面積 5,157 m ²
		(1) 植栽工
		・ 高中木植栽工 32 本
		・ 低木植栽工 1,152 本
		・ 張芝工 1,992 m ²
		(2) 園路広場等整備工
		・ 園路舗装工(透水性アスファルト舗装、コンクリート舗装) 957 m ²
		・ 園路縁石工 366.8m
		・ 混合クレイ舗装工 900 m ²
		(3) 施設工
		・ メモリアル解説板 1 基
		・ メモリアルモニュメント 一式
		・ 水飲み 2 基
		・ ベンチ 14基
		・ 縁台 4 基
		・ 案内板 3 基
		・ 車止め 41基
		・ パーゴラ 2 基
		・ 防災パーゴラ 1 基
		・ かまどベンチ 4 基
		・ トイレスツール 10基
		・ ソーラー照明 7 基
		・ フェンス(目隠しフェンス、メッシュフェンス) 219.4m
		・ 擬木柵 23.5m
		(4) 防災備蓄倉庫工
		・ 防災備蓄倉庫 3 棟
		(5) 管理事務所及び便所工 一式

第10 監査の結果

監査の結果、本工事の計画、設計・積算、施工及び事務手続等は、おおむね適正かつ効率的に執行されていると認められた。

なお、技術調査報告書における評価の概要は次頁のとおりである。

1 総合評価

書類及び現場での調査の結果、良好であると評価する。

なお、今後、施設工、植栽工、園路舗装工等の作業が予定されているが、最後まで細心の注意を払って施工されるよう期待する。

2 個別評価

(1) 設計基準、資料等の整備状況及びその運用

適用された設計基準等は、適正に整備、運用されていた。

(2) 設計書（設計図書、仕様書、明細書）

ア 設計は、工事目的、法令及び現場等に適合し、経済的かつ効率的に行われていた。

イ 仕様書及び図面等は的確に作成されており、使用材料、機械等の選定が適切であった。

(3) 設計見積

積算に当たっては、標準資料及び最新の単価を使用しており、適正に実施されていた。

(4) 工事施工計画及び各工種の工程表

ア 施工計画は適正に作成されていた。

イ 工種ごとの工程管理も適切に設定されていた。

(5) 設計書と施工状況との対比

設計書と現地施工の整合性は、適正であった。

(6) 各種検査、材料試験等の実施状況

各種検査、材料試験等の実施状況が適正に実施されていることを確認し、書類についても適切に整備されていた。

(7) 契約締結までの手続

ア 契約に関する手続及び時期については、適正に実施されていた。

イ 必要書類は適正であり、適切に整備されていることを確認した。

(8) その他必要事項

室内空气中化学物質測定計画書が作成され、今後化学物質の濃度測定を実施することになっており、環境保全についても考慮されていた。